２０２２年
２９４号
１１月１６日（水）

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

3年ぶりに中央市民会館裏の元荒川中土手「いも煮会&誕生会」開催

11月2日（水）この日は先週の天気予報では台風の余波で大雨予想、しかし雨は一日前にずれて真っ青な秋晴れになりました。この2年間誕生会はコロナ感染のため全て「レクリエーション大会&誕生会」に変更しましたが、コロナの行動規制も緩和されたので、久しぶりに秋の誕生会を「いも煮会&誕生会」として3年ぶりに中央市民会館裏の元荒川中土手で開催しました。準備のために中央市民会館3階の越谷地区センターの調理室には9時過ぎに準備を手伝ってくれる方が役員の方5人、役員以外にも宮下文子、大滝孝子、宇佐美とし子、石山京子、吉田和子さんが駆けつけてくれました。簡単な打合せの後、使用する鍋を洗い、里芋の皮むきを開始しました。

里芋はいつものものを使わさせていただきました。そのうち更に5人の役員の方と、橋本キミさん、飯島みや子さん、岡崎ミサ子さんも駆けつけてくれました。

中土手の会場設営に5人、ビールなどの購入に3人にお願いし、芋煮などの料理も出来上がり11時30分には会場に運びました。

ブルーシートをしいたウッドデッキに料理を並べました(写真)。出来上がったばかりのいも煮の丼におにぎりとお菓子、差し入れのお新香に柿、お茶や缶ビールです。レクリエーション大会の時はアルコールはなしでしたが、久しぶりのいも煮会はアルコールあり、差し入れ歓迎でした。日本酒、缶ビールの差し入れもありました。冬至南瓜の煮物の差し入れもいただきました。

参加者は37人、12時足立副支部長の司会、吉田健治支部長の開会の挨拶の後、支部選出の宇佐美忠利埼玉県本部委員長が乾杯の音頭で誕生会は開始されました。

好天のもとでの暖かいいも煮、久しぶりのアルコールで舌も饒舌になり周りの人と歓談も和やかでした。

支部に加入されている4人の越谷市議の皆さんが途中退席のため挨拶、その後一人一人近況の報告を行いました。

支部長からは10月末の越谷支部は女性115人、男性114人で初めて女性の数が男性の数を上回ったとの報告ありました。その後誕生会では7人の方に誕生花をお渡ししましたが全員女性でした。

恒例のじゃんけん大会の後、14時に閉会しました。

（五十嵐）

<9,10,11月誕生の方>

左から
不破千代江さん
城之内美子さん
大滝孝子さん
三石静子さん
大喜博子さん
石山京子さん
飯島みや子さん

第64回シティウォーク

日時　11月28日（月）9時
集合場所　南越谷駅南口広場
飛鳥山公園・古川庭園
☆詳細はチラシをご覧ください

点晴

来年春の統一地方選挙 くらしと平和を守る機会に

来年春、統一地方選挙がおこなわれます。越谷市でも4月9日投票で県議会議員選挙、4月23日投票で市議会議員選挙が実施されます。

私たち年金者組合も応援する福田晃さんが市長になり1年がたちました。

越谷市の市民、住民の願いを実現する市政のいっそうの充実のためにも、来年の市議会選挙は大切な機会となります。

越谷市の年金者組合、社会保障推進協議会は補聴器購入への助成制度の実現を求める運動を始め、消費税の引き下げを求める取り組みも続けています。

統一地方選挙にむけては国保税の負担引き下げ、シングルマザー世帯への教育・生活費の援助、家庭用ごみ回収での高齢者の負担軽減なども切実です。

岸田政権に対する国民の支持率は30％前後まで下がり続けています。物価が高騰するもとでの医療費負担の増額、年金の引き下げのいっぽう、消費税の引き下げには背を向けたまま。軍事力の強化、軍事費の2倍化は社会保障、教育にさらに大きな負担をもたらします。厚生労働省は国民年金（基礎年金）の支給額を引き上げるためとの理由で加入期間5年間延長の検討を始めました。厚労省の2019年の財政検証ではマクロ経済スライドの引き下げが大きいため、支払期間を5年延長しても支給水準は2割低下すると試算しています。

高齢者の生活を守るためには、物価高騰に見合う年金支給額の引き上げや、マクロ経済スライドの廃止こそが重要です。

統一地方選挙は、福祉と暮らしを守る自治体の役割を前進させる選挙になるとともに、岸田政権が進める大軍拡と改憲にストップをかけ、くらしと平和を守る政治への転換をもとめる選挙にもなります。

今後の岸田内閣の政治、各政党の動向に注目したいものです。

（吉田正美）

「越谷社保協」講演会：ほっと越谷会議室にて（北越谷駅東口駅前）　11月27日（日）14:00～16:30
難聴と補聴器についての講演会「難聴と聴覚リハビリテーション」「補聴器を効果的に使用するには」